

- 令和3年3月、「『未来の東京』戦略」にて、東京2020パラリンピックのレガシーとして、味の素スタジアム内の室内施設の**パラスポーツ練習拠点**としての活用を検討することを公表
- 令和3年9月、「東京都パラスポーツトレーニングセンター（仮称）施設運営計画（中間まとめ）」をとりまとめ

1 所在地

東京都調布市西町376番地3
（味の素スタジアム内）

2 施設概要

竣工：平成12年
延床面積：約6,195㎡
主要施設：体育室、集会室 等
アクセス：京王線飛田給駅（徒歩約15分）

3 バリアフリー状況

- ・ 点字ブロック、スロープ
- ・ 点字・音声案内
- ・ 車いす対応トイレ
- ・ 異性介添えの可能な家族更衣室 など



1 施設運営の基本方針

(1) パラスポーツの競技団体等が安定的に活動できる競技力向上の拠点

- ・ 東京から世界を目指すパラアスリートの競技力向上のため、パラスポーツの競技団体等が継続的・計画的に利用できる練習拠点として活用する
- ・ パラリンピック競技以外を含め、多様な障害種別のアスリートがスポーツに取り組める場とする
- ・ パラスポーツ特有の用具等を備えた付加価値の高い施設とする

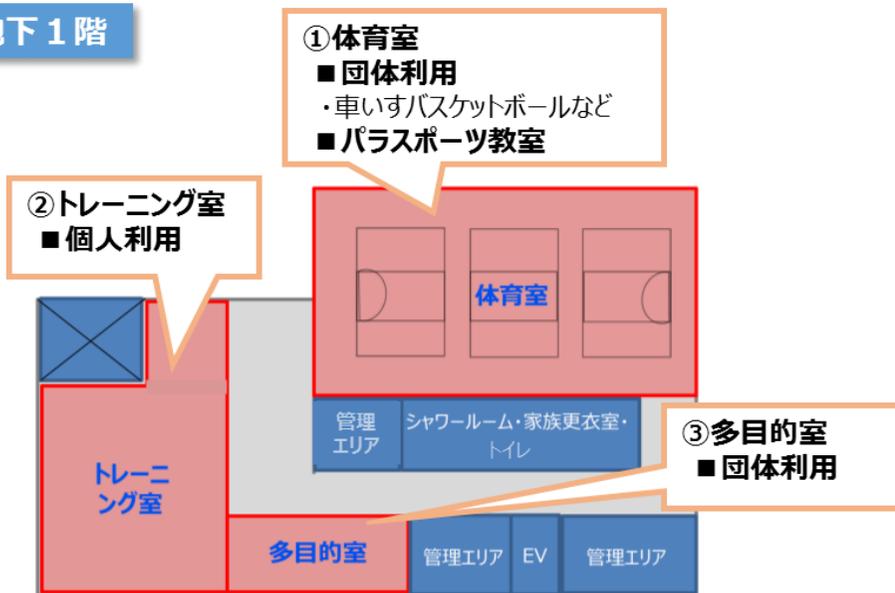
(2) 障害のある人もない人もスポーツに親しむことのできる場

- ・ 障害のある人がスポーツのレベルに関係なく利用できる場とする
- ・ 障害のある人とない人が、一緒にスポーツに取り組める場とする
- ・ 誰でも参加可能なパラスポーツ教室を開催するなど、都民がパラスポーツを楽しめる場とする
- ・ 施設の空き状況に応じて、健常者がスポーツに取り組める場としても活用していく

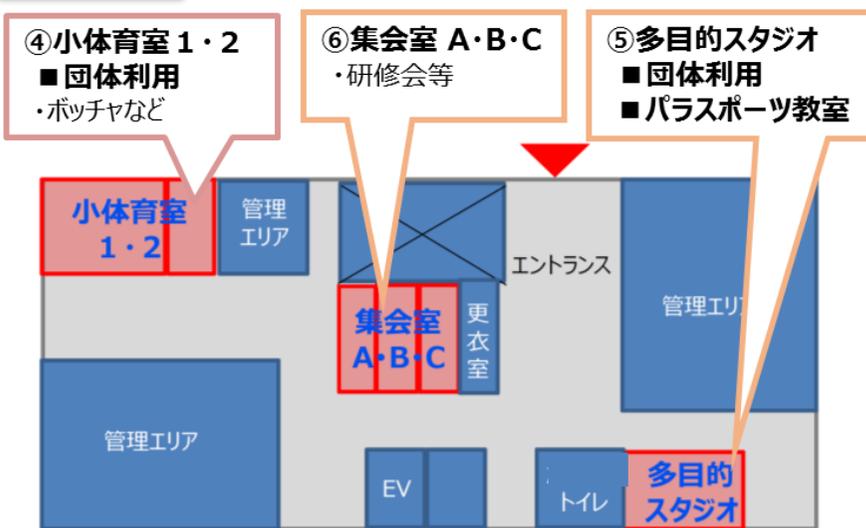
2 施設の利用イメージ：年間約3万人の延べ利用者数を想定

- 体育室等は競技団体等による練習利用を想定、トレーニング室はアスリート等によるトレーニング利用を想定
- 体育室や多目的スタジオはパラスポーツ教室での利用、集会室は競技団体等による研修会や講習等での利用を想定

地下1階



地上1階



3 管理運営の検討

指定管理者制度による管理運営について具体的な検討を進めていく

年間運営費(概算費用)の試算：約2.2億円

※ 今後の指定管理者選定の中で提案を募るなど、効率的な施設運営策を検討

※ パラアスリート等の利用料は、東京2020大会後のパラスポーツ振興の視点や、類似施設でのパラスポーツの実施状況等を踏まえて、当面徴収しない

4 スケジュール（予定）

令和3年9月～10月
 令和4年2月頃
 令和4年度
 令和4年度末

- 施設運営計画（中間まとめ）の公表、パブリックコメントの実施
- 施設運営計画の公表
- 改修工事
- 開業（予定）